

# 蒲郡戦国歴史巡り之図



発行

令和五年二月  
蒲郡市観光協会  
電話〇五三三一六八一二五

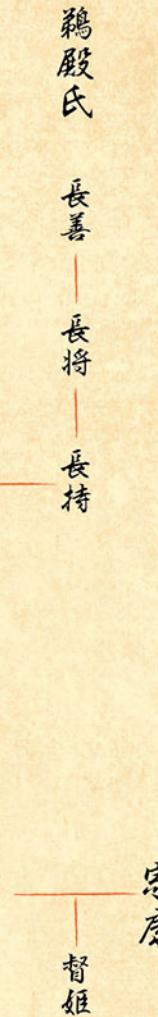
# 三河地方にゆかりの深い鶴殿氏・松平氏



戦国時代、蒲郡の一帯を治めていたのは鶴殿氏という一族でした。鶴殿氏は紀伊半島の熊野地方から蒲郡へ渡ってきた一族で、上ノ郷城を本拠地として蒲郡を治めていました。

鶴殿長持は今川氏の当主今川義元の妹を妻を迎えたことで鶴殿氏は今川氏と親戚関係になりました。今川氏の親戚となつたことで、三河地域での鶴殿氏の立場も強まります。桶狭間の戦いで今川義元が討死した後、長持の子長照は三河統一を目指す家康に対しても今川方として立ちはだかるも、上ノ郷城は攻められ落城、長照は討死し、長照の二人の子氏長と氏次は家康に捕らえられたのち、家康の正妻瀬名姫、嫡男信康、長女亀姫との人質交換で今川氏の元へ返されました。また、長照の妹にあたるお田鶴の方はのちに曳馬城（浜松城）の城主をつとめ、家康と戦い討死したと伝えられています。

## 鶴殿氏家系図



家康



今川氏



娘



## 松平氏家系図



信光

安祥松平家

親忠

竹谷松平家

十八松平

守家

形原松平家

五井松平家

忠景

深溝松平家

忠定

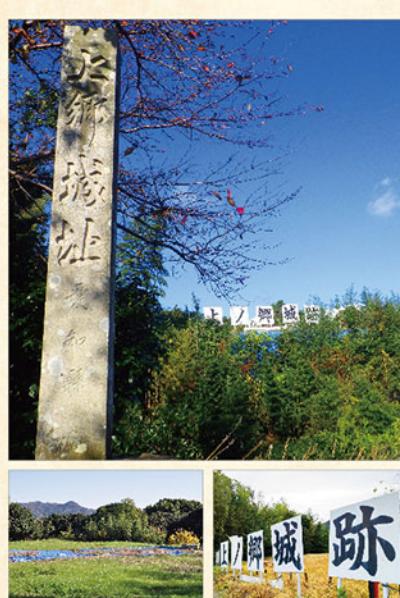
# 鶴殿長照の足跡と城址周辺の繁榮を偲ぶ

永禄五年二月の合戦で家康方により城主鶴殿長照は討死しました。長照の死後は家康の義父にあたる久松俊勝（長家）がこの地を支配しました。矢倉場、殿市場などの地名が、往時の繁榮を今に伝えます。

思により火が放たれ  
混乱の内に落城す

戦国時代蒲郡に勢力を有していた鶴殿氏の本拠地です。  
当時は周囲を断崖に囲まれ、隣を流れる兼京川を堀として使用した天然の要害でした。鶴殿氏は、今川氏の親戚であったことから三河統一を目指す徳川家康（当時は松平元康）と対立し、落城に時間がかかることを見かねた元康が忍者を城内に放ち放火、その混乱に乗じて攻め落としたと伝わります。

## い 上ノ郷城跡



上ノ郷城攻めを指揮した  
家康が腰掛けた岩

### ほ 名取山 腰掛岩

上ノ郷城攻めの際、家康が陣を敷いたと  
言われている山です。  
白龍池から聖山に登るハイキングコース  
の中腹に、家康が腰をかけたとの言い伝え  
がある腰掛岩（つくね岩）も残されて  
います。

鶴殿長照が討ち取られた  
怨念の残る坂

### に 鶴殿坂

上ノ郷城が落城した際、城主の鶴殿長照  
が敗走したがこの坂で転んだところで討  
ち取られたと言われています。鶴殿長照  
の怨念によりこの坂で転び、怪我をする  
と治りにくいという伝説があります。



### ほ 鶴殿長照の墓

上ノ郷城落城時の城主であった鶴殿長照  
の墓。長照は上ノ郷城が落城した際に討  
死しました。長照の子は捕らえられ、今川氏に返される  
代わりとして当時人質として今川家に預け  
られていた元康の正妻瀬名姫、嫡男信康、  
長女亀姫が元康の元に戻されました。

### ⑤ 正行院（長応寺跡）

鶴殿氏の宗家に当たる上ノ郷鶴殿家の菩  
提寺である長応寺がかつて存在した場所  
に位置する寺院です。境内に鶴殿一族の靈をまつた石碑があ  
ります。

戦火により消失した  
鶴殿家の菩提寺長応寺跡



# 松平家 德川家 鶴殿家 年表

- 1543 松平広忠・於大の方の子として竹千代（徳川家康）が岡崎城にて誕生（1542年説もあり）。
- 1547 竹千代が人質として駿河の今川家の元へ送られる。この際、犬飼湊より出港したと伝わる。途中立ち寄った田原城で城主戸田康光の裏切りに合い、そのまま尾張の織田家の元へ人質として送られる。
- 1549 松平広忠が死去する。
- 織田信秀（織田信長の父）の子、織田信広との人質交換で竹千代が今川義元の元へ送られる。
- 1555 竹千代元服、松平元信を名乗る。
- 1558 松平元信、松平元康に改名。
- 1560 鶴殿長照、今川義元の尾張侵攻で先鋒を務める。前線である大高城（名古屋市）に入城するも、城内の兵糧が不足し今川義元に兵糧の運び入れを要請し、元康が兵糧運び入れの役目を果たす。桶狭間の戦いが起こる。今川義元が討死。
- 1561 元康、今川氏の東三河の拠点であった牛久保城（豊川市）を攻撃。今川氏から独立の意思を明確にする。
- 1562 元康、今川氏の親戚であった鶴殿長照の上ノ郷城を攻める。当初は上ノ郷城が堅城で攻撃を防いでいたが、落城しないことを見かねた元康が忍者を城内に放ち放火、その混乱に乗じて上ノ郷城が攻め落とされ、鶴殿長照は討死。長照の子、氏長・氏次が捕らえられる。氏長と氏次を今川氏に返還する代わりとして今川氏の元へ人質として預けられていた元康の妻瀬名姫、長男信康、長女龜姫が元康の元に戻る。久松俊勝（長家とも。於大の方の再婚相手）が上ノ郷城の城主に任命される。
- 1563 松平元康、松平家康に改名。
- 1565 鶴殿氏一族の西郡の局、家康の次女にあたる督姫を出産。
- 1566 松平家康、徳川家康に改姓。
- 1568 家康、遠江（静岡西部）攻めを開始する。曳馬城（のちの浜松城）の城主を努めていたお田鶴の方（鶴殿長照の妹）、家康からの降伏要請を断り曳馬城で討死。
- 1575 織田・徳川連合軍と甲斐（山梨県）の武田氏との間で長篠の戦いが起こる。五井松平家の景忠・伊昌親子、長篠城（新城市）に籠城し武田軍から城を守り抜く
- 1582 本能寺の変が起り明智光秀に織田信長が討たれる。当時堺（大阪府）を見物中であった家康は三河に逃れる（伊賀越え）。
- 1583 家康、相模（神奈川県）の北条氏と同盟を結ぶ。同盟の証として督姫が北条氏の5代目当主北条氏直と婚姻する。
- 1584 家康と豊臣秀吉との間で小牧・長久手の戦いが起こる。形原松平家の家信、秀吉方の剛勇の者を討ち取り家康にその功績を称えられる。
- 1587 久松俊勝（長家）が死去する。於大の方は安楽寺にて剃髪し、2年程度住んでいたと伝わる。
- 1590 豊臣秀吉が相模（神奈川県）の北条氏攻めを行う（小田原征伐）。家康も従軍し、その功績により関東に移封される。上ノ郷城主であった久松氏、下総国（千葉県）関宿に移封される。久松氏の移封に伴い上ノ郷城が廢城になる。
- 竹谷松平家が武藏国（埼玉県）八幡山に移封される。形原松平家が上総国（千葉県）五井に移封される。五井松平家が下総国（千葉県）飯沼に移封される。
- 1591 北条氏直が死去し、督姫が家康の元に戻る。
- 1594 督姫、秀吉の仲介によって吉田城（豊橋市）の城主であった池田輝政に再嫁する。
- 1598 豊臣秀吉が死去する。
- 1600 家康、会津（福島県）の上杉氏征伐に出陣する。その道中で竹島に立ち寄ったとの伝承がある。石田三成が徳川勢の籠城する伏見城を攻撃する（伏見城の戦い）。伏見城は落城し、徳川勢の中にいた鶴殿長照の次男氏次が討死する。関ヶ原の戦いが起こる。家康、石田三成を破る。竹谷松平家の家清、関ヶ原の戦いの功績で吉田（豊橋市）の地を与えられ、吉田藩の初代藩主となる。形原松平家の家信、関ヶ原の戦いの功績で再び形原の地を与えられる。
- 1615 家康、大坂夏の陣で豊臣氏を滅ぼす。
- 1616 徳川家康が死去する。